

令和2年度 石狩市教育委員会会議（1月定例会）会議録

令和3年1月26日（火）
第2委員会室

開会 10時00分

○委員の出欠状況

委員氏名	出席	欠席	備考
教育長 佐々木 隆 哉	○		
委員 門 馬 富士子	○		教育長職務代理
委員 松 尾 拓 也	○		
委員 山 本 由美子	○		
委員 穴 水 正	○		

○会議出席者

役 職 名	氏 名
生涯学習部長	安 崎 克 仁
生涯学習部理事	西 田 正 人
生涯学習部次長（教育指導担当）	石 橋 浩 明
総務企画課長	松 永 実
学校教育課長	伊 藤 英 司
教育支援センター長	幸 田 孝 仁
社会教育課長（兼公民館長）	板 谷 英 郁
文化財課長	工 藤 義 衛
浜益生涯学習課長	開 発 克 久
学校給食センター長	櫛 引 勝 己
生涯学習部参事（指導担当）	山 田 潮
教育支援センター教育支援担当主査	盛 雅 宏
総務企画課施設担当主査	石 澤 強
総務企画課総務企画担当主査	鎌 田 晶 彦
同上	扇 武 男

○ 傍聴者 1名

議事日程

日程第1 署名委員の指名

日程第2 教育長報告

日程第3 協議事項

① 石狩市学校施設長寿命化計画（原案）について

日程第4 報告事項

① 令和3年度全国学力・学習状況調査の実施について

② 令和2年度石狩市教職員研修「ウインターセミナー」の実施結果について

日程第5 その他

日程第6 次回定例会の開催について

開会宣言

（佐々木教育長）ただ今から、令和2年度教育委員会会議1月定例会を開会いたします。

日程第1 会議録署名委員の指名

（佐々木教育長）日程第1 会議録署名委員の指名ですが、門馬委員にお願いします。

日程第2 教育長報告

(佐々木教育長) 日程第2 教育長報告を議題とします。1月定例会での報告につきましては、お配りしている資料をご覧くださいまして、報告に代えさせていただきますきたいと思います。

ご質問等がございましたらお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

(松尾委員) 1月20日の「子どもたちへの寄附金受領・懇談」とあるのですが、このことについて詳しく教えていただければと思います。

(佐々木教育長) これは、市内に事業所をお持ちの方が、市内の恵まれない子どもたちへの支援に役立ててほしいとのことで、30万円の寄附をいただきました。それを教育委員会と保健福祉部で、それぞれ子どもたちのために使用することになり、この日、寄贈式を行い市長と私で受領いたしました。

(松尾委員) わかりました。

(佐々木教育長) 他に質問等はございませんか。

質問なし

(佐々木教育長) 質問等がないようですので、教育長報告について、了承ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、教育長報告について了承をいただきました。

日程第3 協議事項

(佐々木教育長) 次に、日程第3 協議事項を議題といたします。

協議事項① 石狩市学校施設長寿命化計画(原案)について

(佐々木教育長) 協議事項①「石狩市学校施設長寿命化計画(原案)について」、事務局から説明願います。

(松永総務企画課長) 私から、協議事項①についてご説明いたします。12月の教育委員会会議定例会において、この計画の素案をご説明し、各委員からご意見、ご質問をいただき、それぞれお答えしたところですが、その中で、事務局において検討するよう求められていた案件が2点ありました。

まず、1点目ですが計画期間についてです。お配りしています原案の2頁上段に記載しています計画期間については、令和3年度から12年度までの10年間としていますが、6頁の児童生徒数、学級数の推移の表では、令和7年度までの掲載となっており、この計画期間についての整合性という点で、令和8年度から12年度までの5年間分も掲載すべきではないかとのご意見をいただきました。このご指摘の件ですが、自治体が策定をしている様々な計画における人口推計のデータについては、「国立社会保障・人口問題研究所」通称「社人研」という機関による人口予測調査のデータを利用しています。このデータは、5歳ごと、例えば0歳から4歳、5歳から9歳までの人数で示す人口推計となっているため、令和8年度以降に1年ごとの推計値を掲載することは困難であることをご理解いただきたいと思います。

次に2点目ですが、資料6頁をご覧ください。今後の学校施設の整備改修の優先順位、学校の適正規模化、適正配置を進めるにあたり、今後の検討や議論を深めていく点からも、学校別の推計データを掲載することについて、検討してほしいとのご意見をいただき、この件について事務局において検討いたしました。本日、お示ししている原案の6頁下段で、※印のとおり、「R3～7年度の児童生徒の推計値は、R2.5.1時点の住民基本台帳のデータを基にしたものである。

(各年度における学年別児童生徒数を次年度に自動スライドさせた数値であり、社会的要因は加味していない。)」という形で添え書きを追記しました。児童生徒数の推移については、今後において、現時点では予測できない社会的要因が実際には加味されることとなり、それに伴い年度を経るごとに誤差が生じ、誤差も年々大きくなってまいります。推計とはいえ、計画に掲載するデータとしての意味を持たなくなるのではないかとの見解に至ったところです。

また、この誤差が生じてしまう要因の具体的な例を申し上げますと、生振小学校の取扱にあたって、支障が生じるということがございます。生振小学校は、児童定員90人の特認校として、毎年、旧石狩市域の様々な通学区からの新小学1年生が入学されており、そのことによって、特に市内各小学校の児童数については流動しているという現状もあります。このようなことから、事務局としては、学校施設長寿命化計画において、今の段階では、各学校別の推計データを掲載することは差し控えたいという判断をさせていただきたいと存じます。

つきましては、今後、具体的な改修の実施計画や学校の適正配置のための通学

区域の変更、学校統合等といった具体的な方向性について、当該地域の市民や保護者、学校関係者等にお示しをする際には、学校別の推計データを公表して説明をし、合意形成を図りながら取り進めることとしたいと考えております。

そのようなことを踏まえ、前回お示しした素案から、今回議案として変更した部分ですが、資料6頁の4行目以降、「6年間で児童数が約470人（約16%）、生徒数が約160人（約10%）」と、それぞれ減少している旨の掲載をいたしました。

もう1点、この6頁の図3-1のグラフと表について、前回の素案では、小学校の学級編制が現行のままで推移したものを掲載いたしましたが、現在、開会している通常国会で法案成立が予定されている、小学校での35人学級制の導入を踏まえ、令和7年度までに順次導入した場合の学級数に変更をしています。そのようなことから、「学級数も小学校で7学級（35人学級導入の場合）」を追記いたしました。以上、先ほどの※印を含めて3点追記をしています。

次に、10頁をご覧ください。参考として、現地調査をして学校施設の主な老朽化、劣化の状況ということで写真を掲載していますが、各写真の学校名を追記いたしました。

次に、18頁をご覧ください。（2）優先順位の考え方、②のところ、「計画期間内に建築後40年を経過し、児童生徒数の将来推計を踏まえ」を追記しています。これは先ほど申し上げました、今後の児童生徒数の推移について留意していくということです。以上の点について、変更いたしましたのでご了承願います。この内容を学校施設長寿命化計画の原案として、2月にパブリックコメントを実施し、3月定例会でパブリックコメントの状況を報告してから、議決をいただきたいと考えています。私からは以上です。

（佐々木教育長）ただ今、事務局から説明がありました。ご質問等はありませんか。

（松尾委員）2点あります。1点目は、資料6頁です。児童生徒数の増減には社会的要件がかなり影響するとのお話しですが、今まで、0歳児や1歳児の子どもたちの数が、市内の小学校へ入学する頃には、社会的要件により増減があったと思います。このあたりのトレンド、傾向などについて、石狩市では何割くらいの増減があったのか、押さえておられるところがあれば教えていただきたい。

2点目は、今後、具体的に事業を進める際の実施計画について、スケジュール感を想定されている範囲の中で教えていただきたい。

（松永総務企画課長）1点目につきましては、これまでの傾向は、住民基本台帳

による人口の比較ということで、2014年（平成26年）4月1日と2020年（令和2年）4月1日時点と比較しますと、2014年の0歳児が336人だったのが、6年後、その子どもたちが2020年に6歳になったときの数が448人と33%増加になっています。また、2014年4月1日時点の6歳児が549人だったのが、2020年4月1日時点で12歳となったときの数が543人と、ほぼ横ばいで変化していない状況でありますので、増減については、その年代各層で、ばらつきがあることにご理解をいただければと思います。

2点目の実施計画のスケジュール感についてですが、今回、長寿命化計画の説明をいたしました。今回はじめて、各学校施設の老朽化の状況等9頁の表を公表いたしました。各学校の児童生徒数の今後の推移の見極めも含めて、新年度において、今後向こう5か年くらいの実施計画を示すことができるようにしたいと考えており、市長部局や財政・企画所管等との事務調整も必要となる中でのスケジュール感で考えています。以上です。

（松尾委員）わかりました。

（佐々木教育長）その他質問等はございませんか。

（穴水委員）資料10頁の「〔参考〕現地調査による学校施設の主な老朽化（劣化）の状況」の写真ですが、9頁の建物状況一覧での評価では、D評価が1枚、C評価が4枚、双葉小学校のB評価が1枚だと思いましたが、例えば樽川中学校の屋根屋上は、劣化状況ではD評価となっています。また、紅南小学校の屋根屋上はD評価になっています。これらD評価のものを中心に写真の掲載をすることができないかと思いますが、いかがでしょうか。

（松永総務企画課長）資料9頁の建物状況については、今回この様な形で一覧にして、公表しようと考えているところです。この劣化状況の評価につきましては、資料8頁に評価の基準を載せています。各建物の5つの部位について、劣化状況を4段階で評価しており、これらを基に健全度を算定しています。資料10頁に掲載している写真は、花川中学校をはじめとする各校舎等の建物の劣化状況の写真を掲載していますが、学校の状況を広く理解していただきたいという趣旨で、劣化状況の評価にこだわらない形で、こういった事例もあることを知っていただくために掲載しています。今回、D評価を中心に写真を掲載するとのご意見でしたが、ただ今申し上げた部分についてご理解いただければと思います。私からは以上です。

(穴水委員) 意図はわかりました。このような写真を掲載すると、どうしても優先順位が高いものと思われ、D評価で早急に手を入れなければならない所を写真にて掲載していただくと、速やかに改修が行えるのではないかと思います。

(佐々木教育長) 現実的に予算化の際には、改めて予算要求する場所の写真を撮影したうえで、財政所管等とも協議をすることとなりますので、今回の計画に掲載した写真は、いろいろな場所の状況を紹介する趣旨であることをご理解願いたいと思います。

他にご質問等ございませんか。

(門馬委員) 資料 10 頁のところですが、タイトルの表現の仕方で「現地調査による学校施設の主な老朽(劣化)の状況」となっていますが、これに「(例)」を付け加えたらどうでしょうか。そうすれば、すぐに改修が必要なものからそうでないものまでであるとの理解をしていただけないかと思いますがいかがでしょうか。

(松永総務企画課長) ただ今、ご提案のありました部分については、そのように変更をさせていただきたいと思います。

(門馬委員) お願いします。

(佐々木教育長) その他ご質問等ございませんか。

質問なし

(佐々木教育長) 質問等がないようですので、協議事項①を了解ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、協議事項①を了解しました。

日程第4 報告事項

(佐々木教育長) 次に、日程第4 報告事項を議題とします。

報告事項①「令和3年度全国学力・学習状況調査の実施について」

報告事項②「令和2年度石狩市教職員研修「ウインターセミナー」の実施結果について」

(佐々木教育長) 報告事項①「令和3年度全国学力・学習状況調査の実施について」及び報告事項②「令和2年度石狩市教職員研修「ウインターセミナー」の実施結果について」、事務局から報告願います。

(山田指導担当参事) 私から報告事項①について、ご説明いたします。別冊の資料「令和3年度を全国学力・学習調査に関する実施要領」の2頁をご覧ください。令和3年度の全国学力・学習状況調査については、令和3年5月27日(木)に実施いたします。調査内容につきましては、小学校調査は、1教科45分間で国語及び算数とし、中学校調査は、1教科50分間で国語及び数学です。また、児童生徒と学校を対象に家庭での生活習慣や学習環境をアンケート形式で聞く質問紙調査を行います。調査対象については、小学校6年生と中学校3年生の全児童生徒を対象としています。引き続きまして、資料の20頁をご覧ください。経年変化分析調査についてご説明します。この調査については、同一の問題による経年比較を行います。全国レベルでの児童生徒の学力の状況を経年で把握・分析し、国の教育施策の検証に役立てることを目的として行われます。調査方法としましては、各学校1教科のみ実施し、令和3年度につきましては、石狩市は小学校1校、中学校1校が抽出されました。小学校は算数、中学校は英語での実施となっております。また、保護者を対象に児童生徒の家庭における状況、保護者の教育に関する考え方等に関する質問紙調査も同時に行われる予定です。因みに調査問題は非公開、結果の返却は行われないこと、調査対象校名についても非公開となります。全国的な学力の推移の報告書としては、年度末くらいに公表を予定しているとのこと。全国学力・学習状況調査の説明については以上です。

次に、報告事項②「令和2年度石狩市教職員研修「ウインターセミナー」の実施結果について」報告いたします。資料をご覧ください。当初、令和2年12月28日の午後から、集合研修として教職員8年目以下の教職員を対象に研修を行う予定でしたが、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、本市7名の主幹教諭がいますが、この主幹教諭が今日的なテーマに基づいて、約15分程度の講義内容をビデオ録画し、それを指定するアドレスからダウンロードするというオンデマンド方式の研修をいたしました。62人の参加があり、アンケートも実施いたしました。設問で「今後の教育活動に生かせるか」との問いに対し、「とても当てはまる」が51.6%、「当てはまる」が48.4%と高い割合で評価

をいただきました。それぞれの講座について、主な感想等を掲載していますので、ご覧ください。最後の頁その他ですが、今回、オンデマンド方式を実施するにあたり、受講者から「大変良かった。」というお話をいただきました。地域柄、遠距離からの参加者もおりました。冬期間ということもあり「非常にありがたかった。」、また、「何度もビデオで見ることができるので、見返すことができた。」ということもあり、高い評価を得られました。私からは以上です。

(佐々木教育長) ただ今、事務局から2件報告がありました。ご質問等があればお願いいたします。

(山本委員) ただ今のお話を聞きますと、オンデマンド方式がとても好評だったということが良くわかるのですが、サマーセミナーの中には、どうしても現地に出向かなければならない講座もあったと思います。今後、サマーセミナーを実施するにあたり、オンデマンド方式で実施するのか、それとも従来の方式でも実施するのか、今の段階で考えがありましたらお聞かせください。

(山田指導担当参事) ただ今、次長班の中でも検討を進めています。新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、判断を進めてまいりたいと考えているところです。

(山本委員) わかりました。

(佐々木教育長) 他にご質問等はありませんか。

(松尾委員) ただ今のお話しですが、スタッフ等の人手とかの問題もあるので、実際できるのかどうか別として、集合研修の様子を録画しておいて、後で見する方法もあるのかと思いますが、そういうことも含めていろいろな方法をご検討いただければと思います。

もう1点質問は、学力・学習状況調査について、例えば新型コロナウイルス感染症により実施できないとなった場合はどういう扱いとなりますか。

(山田指導担当参事) 1点目ですが、集合研修の様子をビデオ化については、今後検討させていただきたいと思います。2点目について、全国学力・学習状況調査のコロナの感染状況につきましては、文部科学省からのQ&Aが、まだ、来ておりませんので、それに係わって対応していく考えでいます。

(松尾委員) わかりました。

(佐々木教育長) 他にご質問等はありませんか。

(穴水委員) 今後、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校にてオンライン教育が実施されることが予想されますが、以前にお話のありましたGIGAスクール構想との関わりで、各家庭にインターネット環境がない場合のWi-Fi装置の配布について、石狩市での進捗状況はどうなっているか教えていただきたい。

(伊藤学校教育課長) GIGAスクール構想に伴うWi-Fiルータの貸出ですが、今現在、学校において1人1台端末の準備をしているところです。実際の運用開始につきましては、新年度4月からの見通しをしており、この実施に合わせてルータ等についても貸出を行うことから、今調査を行っても卒業等様々な状況の変化がありますので、3月末になるかとは思いますが4月以降の貸出に向けて、改めて調査を行っていく予定です。

(穴水委員) 機材等の準備はできていますか。

(伊藤学校教育課長) 機材につきましては、準備が整っており、あとは調査を行うだけの状況となっています。

(穴水委員) わかりました。

(佐々木教育長) 他にご質問等はありませんか。

質問なし

(佐々木教育長) それでは、他に質問等がないようですので、報告事項①及び報告事項②について、了解ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、報告事項①及び報告事項②について了解しました。

日程第5 その他

(佐々木教育長) 次に、日程第5 その他を議題とします。その他について委員の皆さんから何かございませんか。

その他なし

(佐々木教育長) その他について事務局からありませんか。

(安崎生涯学習部長) ありません。

(佐々木教育長) それでは、以上で日程第5 その他を終了します。

日程第6 次回会議の開催日程

(佐々木教育長) 次に、日程第6 次回会議の開催日程を議題とします。次回については、2月5日(金)16時00分からの開催を予定しておりますので、宜しく願いいたします。

閉会宣告

(佐々木教育長) 以上をもって、1月定例会の案件は全て終了いたしました。これもちまして、令和2年度教育委員会会議1月定例会を閉会します。

閉会 10時35分

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和3年2月25日

教育長 佐々木隆哉

署名委員 阿馬尚子